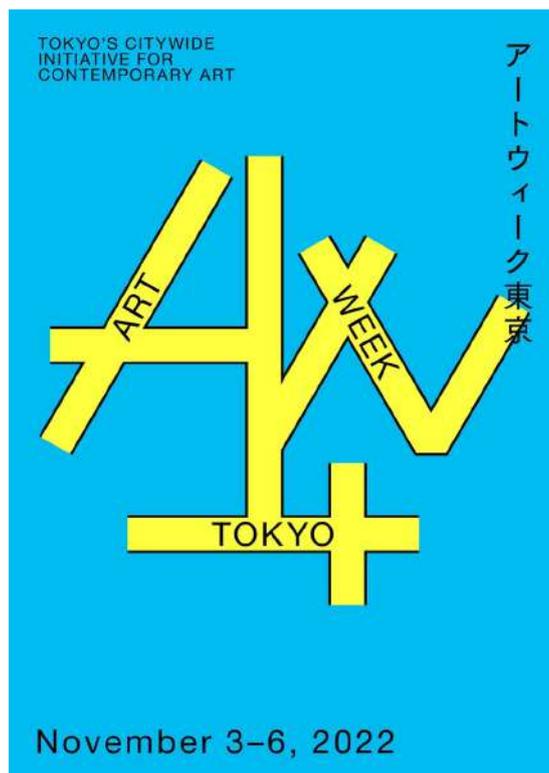


「アートウィーク東京」2022年度記者発表会 配布資料



一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォームは、世界最高峰のアートフェア「アートバーゼル」と提携し、日本の現代アートの創造性と多様性、またそのコミュニティを国内外に紹介する国際的なアートイベント「アートウィーク東京 (AWT)」を、2022年11月3日(木)～6日(日)の4日間にわたって開催します。

東京の現代アートを牽引する美術館やギャラリーなど都内各地に広がる50以上のアートスペースを結びつけるアートウィーク東京では、6つのルートを巡回するAWT BUSの運行、様々なサービスや機能を搭載した無料の公式アプリAWT PASS、日本の現代アートの美術史的文脈やエコシステムに焦点をあてたオンライントークシリーズに加え、本年度は国内外で活躍するアーティストの映像作品を厳選したビデオプログラムや、国際的に活躍するキュレーターを招聘したラウンドテーブル、バーチャル・ブースで美術作品を体験、購入できるオンラインアートプラットフォームの開設など、より多角的なアプローチを通じて、東京の「いま」をアートで感じる特別な4日間を体験できます。

(公式 URL : <https://www.artweektokyo.com/>)

アートウィーク東京

- 名称 : アートウィーク東京 (英 : Art Week Tokyo)
会期 : 2022年11月3日(木)～11月6日(日) (4日間)
会場 : 都内51軒の美術館/インスティテューションとギャラリー/AWTインフォメーションセンター
主催 : 一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム
提携 : Art Basel (アートバーゼル)

アートウィーク東京モバイルプロジェクト

- 名称 : アートウィーク東京モバイルプロジェクト
主催 : 東京都/アートウィーク東京モバイルプロジェクト実行委員会
助成 : 文化庁

AWT BUS でつながる東京のアートシーンの多様性と創造性

本年度の AWT には、日本の現代アートを牽引する 10 の美術館／インスティテューションと 41 のギャラリーが参加します。AWT 参加施設が提供する良質のプログラムに、パンデミック以降のアートの可能性の探求、国際的に活躍するアーティストの大規模回顧展、幅広い世代の女性アーティストの存在感など、東京のアートシーンの多様性と創造性の一端が映し出されています。

パンデミック以降のアートの可能性の探求

2020 年以降、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) がもたらしている状況の変化に対し、アートはどのように応答できるのでしょうか。世界が共通して抱えるこの問いに森美術館の「地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング」では、国内外のアーティスト 16 名の作品をとおして、人間の生への本質に向き合います。資生堂ギャラリーでは、「第八次椿会 ツバキカイ 8 このあたらしい世界」を開催。コロナ禍下の 2021 年に結成された第八次椿会のメンバーが、after コロナのあたらしい世界について考える様々な試みを展開します。東京都庭園美術館では、コロナ禍下で自由な移動が制限される状況を経験した今、現代のアーティストによる作品などを通じて、「旅」の魅力を再考する「旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる」を開催します。



東京都庭園美術館「旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる」
展示風景 2022 年 Photo by Ken Kato

国際的に活躍するアーティストの大規模回顧展

日本美術史における重要な動向「もの派」を牽引し、長年にわたり国際的にも大きな注目を集めてきた李禹煥の国内では 17 年ぶりとなる大規模回顧展が国立新美術館、ドクメンタとヴェネチア・ビエンナーレという世界最高峰の国際展に招聘されるなど、絵画を中心とした多種多様な表現からなる圧倒的な質量の作品群で幅広い人気を誇る大竹伸朗の 16 年ぶりの大規模回顧展が東京国立近代美術館で開催。日本を代表するアーティストふたりの活動の全貌を概観できる貴重な機会になります。

幅広い世代の女性アーティストの存在感



沖潤子《summer dress》(部分) 2022 年
© Junko Oki, photo by Keizo Kioku,
courtesy of KOSAKU KANECHIKA

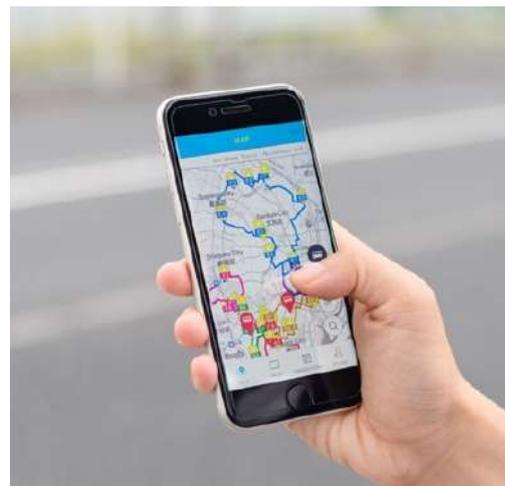
近年、女性アーティストの活動を正当に評価する展覧会が増えつつあるなか、当然その傾向は AWT の参加施設のプログラムにも影響を及ぼしています。長いキャリアを重ね、現在も精力的に活動続ける三輪美津子(スカイザバスハウス)や沖潤子(KOSAKU KANECHIKA)の個展から、東京オペラシティ アートギャラリーの「川内倫子：M/E 球体の上 無限の連なり」、ユミコチパアソシエイツの「鷹野隆大・山城知佳子 二人展「距離の洞窟」、Yutaka Kikutake Gallery の毛利悠子の個展「Neue Fruchtige Tanzmusik」といった美術館規模の個展を経験してきた中堅アーティストによる展覧会、川辺ナホ、宇多村英恵 (WAITINGROOM)、大田黒衣美 (カヨコユウキ)、塩原有佳、石井佑果 (Satoko Oe Contemporary)、長田奈緒 (Maki Fine Arts) など、幅広い世代の女性アーティストによる多様な表現が展開していることがわかります。

そのほか、銀座メゾンエルメス フォーラムの「「訪問者」クリスチャン・ヒダカ&タケシ・ムラタ展」、ペロタン東京のリオネル・エステーヴの個展「日に潜み、夜に現る」、日動コンテンポラリーアートの「ストーリーテラー - 映像表現の現在-」など、海外拠点のアーティストのプログラムも東京のアートシーンの多様性と創造性に欠かせない要素になっています。

無料の公式アプリ「AWT PASS」をダウンロードして、アートウィーク東京を楽しもう

AWT PASS

アートウィーク東京を楽しむために欠かせない無料の公式アプリ AWT PASS。乗車時に提示することで、6つのルートで50以上の美術館やギャラリー、展示会場を繋ぐ AWT BUS が何度でも利用可能になるだけでなく、参加施設やバス停の位置を確認できるマップのカスタマイズやバスのリアルタイム位置情報を活用することで、より快適なアートスペース巡りを楽しむことができます。さらに、参加美術館の入場料割引サービス、4日間の会期限定でオープンする AWT BAR への入場、オリジナルグッズがもらえるスタンプラリーへの参加、展覧会情報を含む会期中の様々なイベントチェックなど、アートウィーク東京を満喫できる機能が満載。



iOS



Android

AWT PASS の6つの機能

- ① 6つのルートで AWT 参加施設を繋ぐ AWT BUS を利用する（無料）
- ② AWT 参加美術館で、入場料割引等の特典を受ける
- ③ 建築家・萬代基介が設計した AWT 会期限定の AWT BAR に入場する
- ④ AWT 参加施設、バスルート、バス停の表示とカスタマイズ、AWT BUS のリアルタイム位置情報の確認をする
- ⑤ AWT 参加施設の展覧会情報や AWT 会期中のイベント情報を調べる
- ⑥ 菊地敦己デザインのオリジナルトートバッグがもらえるスタンプラリーに参加する

AWT PASS の入手方法

App Store と Google Play にて無料でダウンロード可能。

※AWT PASS の提示による参加美術館での割引一覧は、ウェブサイトおよびアプリでご確認ください。

※AWT BUS のご利用には、AWT PASS の提示が必須です。

※アプリを取得できない方は info@artweektokyo.com までお問い合わせください。

AWT BUS

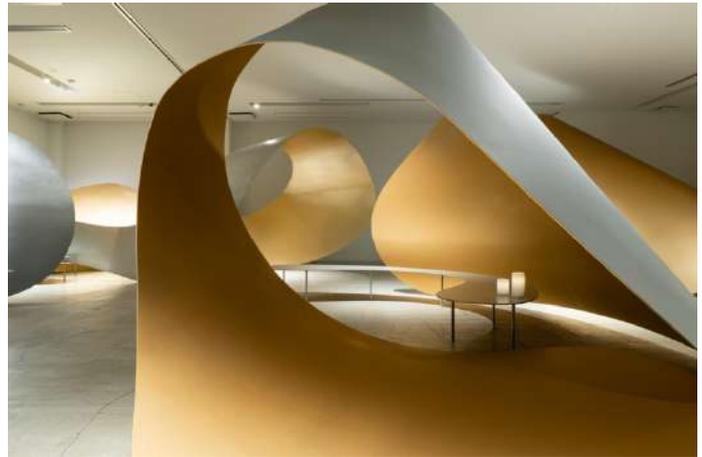
6つのルートで50以上のアートスペースを繋ぐ AWT BUS が、午前10時から午後6時まで約15分間隔で巡回します。AWT PASS の提示で、どのバス停からでも何度でも乗車可能。大型美術館が立ち並ぶ六本木エリア、老舗ギャラリーがひしめく銀座エリア、新進ギャラリーやアーティスト自らが運営するスペースが点在する池袋エリアと東東京エリア、注目のアートコンプレックスが建つ天王洲エリアなど、マップのカスタマイズやバスのリアルタイム位置情報を利用して、東京に広がるアートシーンを自由に移動できます。（※会場とバスルート、バス停一覧はフライヤーに記載）



AWT BAR

気鋭の建築家、萬代基介が設計する AWT 会期限定で南青山にオープンする AWT BAR では、4 名のアーティストとのコラボレーションによるオリジナルカクテルを販売します。それぞれの作品や言葉からインスピレーションを受けた色彩と味覚のカクテルで特別な体験をお楽しみください。

(※オリジナルカクテルの詳細等は別添参考資料を参照)



港区南青山 5-4-30

emergence aoyama complex 1F mosaic

営業時間：会期中 18:00~24:00 (L.O.23:30)

※入場の際には AWT PASS の提示が必要です。



左から、安瀬英雄、川内倫子、田村友一郎、ミヤギフトシとコラボレーションしたカクテル。

スタンプラリー

公式アプリ AWT PASS に搭載されたスタンプラリー機能を使って、A~F のいずれかのバスルートでスタンプをすべて集めるたびに、AWT アートディレクターの菊地敦己デザインオリジナルトートバッグ (全6色) を1点ずつプレゼントします。



参加手順

- ① AWT PASS をダウンロードして、「STAMP」ページを開く。
- ② 「スタンプを読み込む」画面で、参加施設内にある AWT ステッカーの QR コードをスキャン (※美術館にはステッカーの掲示がありません。館内の AWT スタッフへお声がけください。)
- ③ 参加施設のアイコンにスタンプが押されたら完了。
- ④ 各ルート内のスタンプをすべて集めたら、インフォメーションセンターでプレゼントを受け取る。(※プレゼントの引換は会期中のみに限ります。)

※オリジナルトートバッグは EC サイト (<https://artweektokyo.theshop.jp/>) で販売中。

会期中には一部参加美術館のミュージアムショップでも取扱予定。

国際芸術祭ドクメンタの芸術監督を務めたアダム・シムジック選定によるビデオプログラム

世界最大級の国際芸術祭ドクメンタの芸術監督などの経験を持つポーランド出身のキュレーター、アダム・シムジックが厳選したビデオプログラム「Working, Crawling」を開催します。本プログラムは、AWT 参加ギャラリーがリプレゼントする作家に加えて本プログラムのためにシムジックが推薦した作家、国内外で活躍する 17 名のアーティストによる全 18 作品を、三井住友銀行東館 1 階アース・ガーデンの特設会場でまとめて鑑賞する貴重な機会になります。

ビデオプログラム「Working, Crawling」

上映会期：11月2日（水）～6日（日）10:00～18:00

会場：三井住友銀行東館 1 階アース・ガーデン

（千代田区丸の内 1-3-2、AWT BUS バス停：C4）

キュレーター：アダム・シムジック

（※上映作品一覧等詳細は別添参考資料を参照）



©2014 Tadeusz Rolke

現代アートの魅力をもっと知りたいという人に向けたオンライントーク

日本の現代アートの美術史的文脈やその歴史に焦点をあてた全 4 回のオンライントーク・プログラムを実施します。既に第一弾として美術史家の富井玲子のレクチャー「東京はどこにある？—日本の 1960 年代美術を「オペレーション」という概念から考える」、第二弾として dumb type でも活動してきた 4 名のメンバーによるトーク「表現と「わたし」の身体—dumb type 《S/N》のパフォーマー、THE OK GIRLS とブブ・ド・ラ・マドレーヌが語る」を配信。この後、10月28日は小池一子と菊地敦己「必要なものは自分たちでつくる—1970 年代後半以降にみる現代アートとデザインのグラス・ルーツ」、11月1日にはロジャー・マクドナルドとアンドリュー・マークルをゲストに迎えたトーク「わたしたちはどこにいる？—日本における地域アートを再訪する」を公開予定。企画運営はオルタナティブなアート教育を担ってきた非営利のグループ、アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT]が担当しています。（URL：<https://www.artweektokyo.com/talks/>）

国内外のキュレーターの議論と交流の場、現代アートの国際的な言説を日本から発信するラウンドテーブル

AWT では、現代アートの国際的な言説を日本から発信するための第一歩として、国際的に活躍する 5 名のキュレーターを招聘したラウンドテーブル「Curatorial Vision(s)」を開催。日本を拠点とするキュレーターや学生との議論と交流の場を創出します。複数化する美術史の時代におけるキュレーターのヴィジョンとはどのようなものだろうか。刻々と変わる世界情勢、21 世紀という複雑で困難な時代において、どのようなヴィジョンで展覧会は作られていくのだろうか。どのような視野や枠組みを通じて、アートをキュレーションし、歴史化することができるのだろうか。従来の国別、時代別、テーマ別とは異なる、アートを理解するための新たな軸はどのようなものになるのだろうか。本イベントは、各登壇者の現在進行形の、まだ定まっていない、生の考えを聞き、新しいアイデアや可能性を交換する機会になるでしょう。

ラウンドテーブル「Curatorial Vision(s)」*非公開、オンライン配信なし

主催：アートウィーク東京、慶應義塾大学アート・センター

日時：2022 年 11 月 4 日（金）13:00～15:30

登壇者：アダム・シムジック（アムステルダム市立美術館キュレーター、ドクメンタ 14 芸術監督）、イ・スジョン（テート・モダン シニアキュレーター）、レズリー・マ（メトロポリタン美術館 ミン・チュー・シュウ&ダニエル・シュウ アジアアート部門アソシエイトキュレーター）、ガブリエル・リッター（カリフォルニア大学サンタバーバラ校美術学科准教授・大学美術館館長）、チユス・マルチネス（北西スイス応用科学芸術大学 芸術研究所所長）

モデレーター：帆足亜紀（横浜トリエンナーレ組織委員会総合ディレクター補佐）

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス 旧ノグチ・ルーム（港区三田 2-15-45）

対象・定員：キュレーター、評論家および学生 40 名*受付終了

AWT Partner に SMBC グループ、The Okura Tokyo、On などが参加

AWT をより一層楽しむ多彩なプログラムを提供

2022 年の AWT には、オフィシャルパートナーズとして SMBC グループ、The Okura Tokyo、On、サポーターズとしてルイナール、Artsy、ロールス・ロイス・モーター・カーズ東京が参加します。AWT 開催に際し、国内外の優れた映像作品を紹介する AWT 主催ビデオプログラムの特設会場の提供から、AWT 参加ギャラリーの作品をバーチャル・ブースで体験、購入できるオンライン・ビューイング・ルームの開設、アートとエコロジーの関係性をめぐる対談やアーティストとのコラボレーションによる参加型アートの展示の開催、洗練された空間で提供される限定カクテルの考案まで、多彩なプログラムを実施します。

SMBC グループ

SMBC グループのプライベートバンキングのブランド SMBC Private Wealth は、新たに「SMBC ART HQ」を立ち上げるなど、東京のアートのエコシステムの一部としての存在感を増しています。AWT では、AWT 主催のビデオプログラムとインフォメーションセンターの特設会場として、三井住友銀行東館 1 階アース・ガーデンを提供します。

ビデオプログラム「Working, Crawling」

期間：2022 年 11 月 2 日（水）～11 月 6 日（日）

場所：三井住友銀行東館 1 階アース・ガーデン（千代田区丸の内 1-3-2、AWT BUS バス停：C4）

The Okura Tokyo

日本を代表する建築家・谷口吉生のデザインや設計により、日本の伝統的な美意識を未来へと受け継ぐ形で生まれ変わった新生 The Okura Tokyo。AWT では、プレステージタワー41 階のバーラウンジ「スターライト」で、オリジナルカクテル「Fusion～紡がれしオークラの軌跡～」を提供します。

オリジナルカクテル「Fusion～紡がれしオークラの軌跡～」

期間：2022 年 10 月 31 日（月）～11 月 6 日（日）※7 日間限定

場所：オークラ プレステージタワー41 階 バーラウンジ スターライト（港区虎ノ門 2-10-4）

On

チューリッヒで 2010 年に誕生したスポーツブランド On は、洗練されたスイスデザインと地球環境に配慮した最先端のテクノロジーで知られています。AWT では、「Flow State（フロー状態）」をテーマに森美術館アジャンクト・キュレーターのマーティン・ゲルマンをゲストに対談を実施。対談は 11 月 4 日より原宿にオープンしたアジア初の旗艦店「オン トーキョー」で上映します。また、AWT を記念して、グラフィック・デザイナー、アート・ディレクターの加瀬透とのコラボレーションによる限定プロダクトを考案、東京マラソンに向けたプロジェクトを展開していく。

対談 マーティン・ゲルマン x ジョン＝フィリップ・ポークン

期間：2022 年 11 月 3 日（木）14:00～15:00

場所：On Tokyo 3 階

定員：15 名（先着順）

要事前申込：<https://awt22-talk.events.on-running.com>

対談記録上映：11 月 4 日（金）～11 月 6 日（日）On Tokyo 3 階にて

ルイナール

“シャンパーニュの宝石”と謳われる世界最古のシャンパーニュ・メゾンのルイナールは、世界各地のアートイベントとのパートナーシップの経験と実績を誇ります。AWT では、デンマーク出身のアーティスト、イエッペ・ハインとのコラボレーションを展開し、表参道のラ コレッツィオーネの特設会場で、参加型インスタレーション《Right Here, Right Now》を発表します。

Ruinart x Jeppe Hein 《Right Here, Right Now》

期間：2022年11月3日（木）～11月6日（日）

場所：ラ コレッツィオーネ 1階（港区南青山6-1-3、AWT BUSバス停：F3）

Artsy

世界100カ国以上の4,000を超える美術機関とのネットワークを誇る、美術作品の購入・販売のための世界最大のオンラインアートプラットフォーム Artsy。AWT では、世界中の Artsy 利用者が AWT 参加ギャラリーの作品をバーチャル・ブースで体験、購入することができる特別な機会を提供します。

AWT 特設ページ

期間：2022年11月3日（木）～11月20日（日）※VIPプレビューは11月2日（水）

（特設ページのURLは、11月3日にAWT公式ウェブサイトで公開します。）

ロールス・ロイス・モーター・カーズ東京

「偉大さと呼び起こす」を理念に、100年以上にわたり探求と実験の伝統を貫いてきたロールス・ロイス・モーター・カーズは、創造性と多様性に優れた日本の現代アートの国際的な地位の確立を目指す AWT の開催をサポートします。AWT の会期に合わせて、世界最高級セダン「ブラック・バジ・ゴースト」を三井住友銀行東館1階アース・ガーデンに展示します。

オフィシャルパートナーズ：



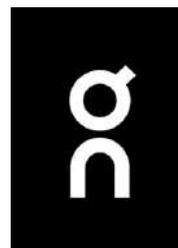
SMBC
Private Wealth

SMBC グループ



The Okura
TOKYO

The Okura Tokyo



On

サポーティングパートナーズ：



Ruinart
LA PLUS ANCIENNE MAISON
DE CHAMPAGNE

ルイナール



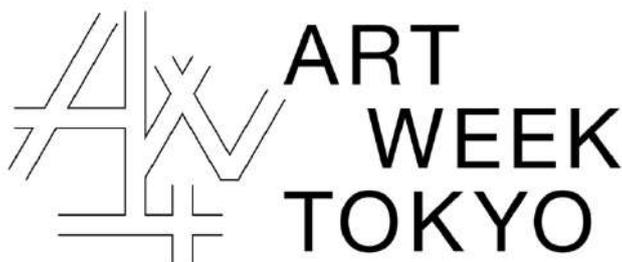
ARTSY

Artsy



ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS

ロールス・ロイス・モーター・カーズ東京



《アートウィーク東京 概要》

日本の現代アートの創造性と多様性、またそのコミュニティを国内外に紹介する年に一度のアートイベント。東京の現代アートを支える場所や人物を国内外のより多くの人々に紹介し、日本のアートの国際的な認知度を高め、日本と海外のアートシーンの交流を促し、日本における現代アートの健全で活発なエコシステムを構築し、地域の特性と国際的な活動の連携を促進することを目的に、世界最高峰のアートフェア「アートバーゼル」と提携し、一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォームが主催する。アートウィーク東京モバイルプロジェクトは、文化庁の助成を受け、東京都とアートウィーク東京モバイルプロジェクト実行委員会が主催。都内各地に広がる主要なアートスペースを繋ぐ AWT BUS の運行を企画・実施する。実行委員は、片岡真実（森美術館館長）、小松弥生（東京国立近代美術館館長）、塩見有子（NPO 法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT] 理事長）、蜷川敦子（アートウィーク東京ディレクター／一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム代表理事）、茂木直恵（東京都現代美術館副館長）。

アートウィーク東京

名称 : アートウィーク東京 (英: Art Week Tokyo)
会期 : 2022 年 11 月 3 日 (木) ~ 11 月 6 日 (日) (4 日間)
会場 : 都内 51 軒の美術館／インスティテューションとギャラリー／AWT インフォメーションセンター
主催 : 一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム
提携 : Art Basel (アートバーゼル)

アートウィーク東京モバイルプロジェクト

名称 : アートウィーク東京モバイルプロジェクト
主催 : 東京都／アートウィーク東京モバイルプロジェクト実行委員会
助成 : 文化庁

《アートバーゼル 概要》

世界最高の規模と質を誇る近現代美術のアートフェア「アートバーゼル」。毎年、拠点となるスイスのバーゼルをはじめ、香港、マイアミビーチ（アメリカ）で開かれるアートフェアには、世界各地から大勢のアートファンや専門家が集まり、2022 年にはパリでの開催も発表されています。国際的なアートイベントにおける高度な専門知識や経験を有するアートバーゼルは、アートウィーク東京がめざす現代アートの健全で活発なエコシステムの構築や、国際的なネットワークにおける東京の地位を確立するために欠かせない存在。(https://www.artbasel.com/)

問い合わせ : info@artweektokyo.com

公式 URL : https://www.artweektokyo.com/

Facebook : https://www.facebook.com/Art-Week-Tokyo-109135978062118

Instagram : https://www.instagram.com/artweektokyo/

Twitter : https://twitter.com/ArtWeekTokyo